

第43回

子どもの組織を

育てる全国集会 IN 神奈川

一心を満たす遊びと夢を紡ぐ仲間を子どもたちにー

記念講演

「こども期の危機を
生きるこどもたち
～こどもたちの今が
見えますか?～」

中西 新太郎先生
(横浜市立大学教授)



とき：2013年11月23日(土)pm1:00～24日(日)pm4:00

ところ：川崎市総合自治会館

参加費：一般3,000円 高校生2,000円 (一般1日参加は2,000円)

宿泊費：7,500円(ホテル精養軒 1泊2食・交流会費含む)

宿泊なしで交流会参加の方：1,600円

【お誘い】

子どもの世界から、「ギャングエイジ」や「反抗期」がなくなったのではと言われたのは随分前のことです。徒党を組んで遊びまわる姿は全く目にしなくなりました。「子どもによる子どものための」自主的で民主的な子ども組織の大切さを学び合いませんか？

現地連絡先：少年少女組織を育てるどろんこの会

本村 安範(携帯)090-5192-8251

11月23日(土)【1日目】

12:00	13:00	13:15	14:00	14:30	16:30	18:30		19:00	21:00
受付	全体集会				講座		移動	交流会(夕食)	
	開会	現地企画	基調報告	記念講演	6講座				
総合自治会館								ホテル精養軒	

■ 全体集会

基調報告：山田 實 (少年少女センター全国ネットワーク副代表)

現地企画：指導員によるパフォーマンス (少年少女組織を育てるどろんこの会)
 イングリッシュハンドベル演奏 (サークル ねぎぼうず)

記念講演：中西新太郎 (横浜市立大学教授)

『こども期の危機を生きるこども達 ～こども達の今が見えますか?～』

講座	講座名	講師	内容
1	中西先生と 語ろう	中西 新太郎 (横浜市立大学教授)	学校を中心とした子ども達の生活。子ども達は多くを語りません。家庭訪問や個人面談、クラス懇談会など学校側の取り組みもありますが、子ども達の生の姿がなかなか見えないのが現実です。講演に引き続き、先生の話聞く時間を用意しました。じっくりと語り合いませんか。
2	ありのままの 子育て ～自閉症の 息子と共に～	明石 洋子 (社会福祉法人あおぞら共生会副理事長、 社団法人日本自閉症協会川崎支部長など)	超多動の子どもに振り回されながら、どう育てていいかわからず、涙に明け暮れていた頃から、地域に飛び出して試行錯誤しながら、地域に仲間や支援者を見つけていった過程や思いを語って頂きます。
3	うばわないで 子ども時代	斉藤 史夫 (埼玉純真短期大学特任講師、子どもの権利条約31条の会、静岡少年少女センター副運営委員長)	子どもの権利条約31条は、「気晴らし・遊び・文化の権利」について詠っています。権利条約が発行されて20年。ようやく遊びの権利が注目をあびてきました。少年少女センターが訴え続けてきたことを権利条約に照らして学びなおし、確信に変えて行きます。
4	子どもの心が 見えますか? (保健室から見える 子どもたち)	松本 順子 (元川崎市養護教諭)	記念講演を現場サイドの実践を通して深めます。川崎市の小学校で養護教諭を務めた経験から、保健室だからこそ見えてくる子どもの姿について報告をして頂きます。子どもの生きづらさが多く語られる昨今ですが、私たち自身の子ども観を見つめ直しませんか?
5	遊びを指導 するって? (遊びを通して 見える仲間関係)	高橋 保 (特別支援学級教諭・ 全生研会員)	指導員という呼び名に何となく抵抗感や違和感はありませんか? 「遊びを指導する」等と言ったらなおのことですよね。私たちは遊びを通して、子ども達に何を伝えようとするのか、私たち自身が遊びとどう関わるのかを考え合います。
6	中学生の心を みつめる (受験と思春期)	大前 博 (川崎市立中学校 教諭)	思春期の始まる中学時代。異性に胸ときめいたり、部活に夢中になったり、親のことがうっとうしくなったりと離しい年頃です。そこに立ち上がる受験と言う試練! 受験と向き合う中学生の複雑な心を見つめます。

11月24日(日)【2日目】

9:00	9:30	12:00	13:00	14:30	15:00	16:00
受付	分科会	昼食	分科会	まとめ	閉会集会	
総合自治会館						

分科会	分科会名	内 容
1	あそび(1) -楽しい遊びづくり-	鬼ごっこや隠れんぼなどの単純な遊びでさえも、十分に楽しめなくなっているなど感じることはありませんか?いつもやっている遊びだけど、こんなところを一寸工夫したら楽しく遊べたよ!という実践を持ち寄りませんか。
2	あそび(2) -上手に遊べない 子どもにどう関わっていますか?-	遊ぶために集まったのに、遊びに入らないで眺めている子どもや、自分の好きな遊びにしか参加しない子どもの存在に悩んでいませんか?そんなとき、皆さんはどうしていますか?悩みを出し合い、率直に語り合しましょう。
3	子どもと創る自治活動	話し合い(会議)をする力が自治能力ではありません。自治は、生活全般の中にあるものです。思いや考えを伝えたり、受け取る力はその根っこになります。子どもの思いを引き出す工夫や、楽しい会議作りの実践を交流します。
4	地域と子ども組織 -子どもを地域の 主人公に-	街の中に、子どもの居場所や出番はあるでしょうか。手をつなぐ子ども達と手をつなぐ大人達。みんなで生きることの楽しさを広げ、地域を共に創造する、手をつなぐ大人と子どもの実践を深めあいます。
5	楽しい学び活動 -知ること、学ぶことの 楽しさを子どもたちに-	受験戦争が激しさを増す中で、勉強嫌いの子どもが増えていきます。学び合うことの楽しさや、発見することの楽しさ、胸がどきどきするような、子ども会少年団ならではのすてきな実践を持ち寄りましょう。
6	青年・父母の成長と 子ども組織 -子どもと共に育つ 大人たちの魅力-	居場所が必要なのは子どもだけではなくありません。青年指導員も親たちも、沢山の悩みを抱えて苦しんでいます。一人ぼっちは大人だって同じです。子ども組織を通じて、繋がり合い育ち合う本音のしゃべり場です。

■2日目昼食について

仕出し弁当を用意しています。ご希望の方は参加申し込み時に、併せてお申込み下さい。会場周辺は飲食店が少ないのでご注意ください。(700円 お茶代含む)

■1日少年団のご案内

- 対象 小学生以上、事前申込をお願いします。
 1日目 13:45(現地企画終了後)~18:30
 2日目 9:30~15:00 (昼食は親と一緒に)

<p>主催 少年少女センター全国ネットワーク 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-44-11-101</p>
--

参加申し込みのご案内

《手順1》

別紙の申込書に必要事項を記入し、①FAX または ②Eメールに参加申込書内容を記載して下記アドレスまで送信して下さい。

①FAX番号 : 045-911-5601

②Eメールの場合 : kawasaki.kodomo@gmail.com に申込書の内容を送っていただくか、申込書をスキャンしてEメールに添付して送って下さい。

《手順2》

参加費・宿泊費等を下記口座にお振り込み下さい。振り込み手数料はご負担をお願いします。

振込先 : 川崎信用金庫 向河原支店 普通0044583

名義 : どんこの会代表 柳沢芳信

- ・参加費 : 一般 3000円(1日参加の場合 2000円) 高校生 2000円
- ・宿泊費 : 7500円 (ホテル精養軒 1泊2食付き、交流会費含む)
- ・交流会費(宿泊しない方) : 1600円
- ・2日目お弁当代(希望者) : 700円

振込額 = 参加費+宿泊費(宿泊の方)または交流会費(宿泊なしで希望者)
+お弁当代(希望者)

【会場のご案内】

総合自治会館 〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町3-1 TEL 044-733-1232

ホテル精養軒 〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町3-10 TEL 044-711-8855



総合自治会館

JR南武線、東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅 徒歩7分

JR横須賀線 武蔵小杉駅 徒歩15分

FAXの場合：045-911-5601 にこの申込書を送ってください。

Eメールの場合：kawasaki.kodomo@gmail.com に下表の内容を送っていただくか、この申込書をスキャンして添付して送って下さい。

申込〆切：2013年11月13日(水)

第43回 子どもの組織を育てる全国集会 参加申込書

フリガナ			性別	□男 □女
氏名				
住所	〒		連絡先 TEL Eメール 等	
参加層	□高校生 □指導員等 □保護者 □その他()			
宿泊希望	□あり 1泊2食 交流会含む □なし		参加 予定日	□2日間 □1日目 □2日目
参加を予定している講座・分科会	講座No.	分科会No.	交流会 参加希望	□あり □なし
2日目 お弁当の希望	□あり □なし		連絡欄	
1日少年団 参加希望	□あり □なし	ありの場合 子ども氏名、学年 学年 ()		

参加費等は、別途お振り込み下さい。

該当する□に✓をいれ、その合計額を記入して下さい。

振込額 = 参加費 (□一般¥3,000、□一般1日参加¥2,000、□高校生¥2,000)
+ □宿泊費 (¥7,500) / □交流会費 (¥1,600) + □お弁当 (¥700)
= _____ 円

※宿泊費には交流会費を含みます。宿泊の方は交流会費不要です。